

【糖尿病ケトアシドーシスの治療：多施設共同調査】

研究の概要：

糖尿病ケトアシドーシス(以後 DKA)の治療にはガイドラインが提示されていますが、臨床現場でどの程度ガイドラインが順守されているかは明確ではありません。

この点を明らかにすることで、今後のDKA治療ガイドラインの改訂、改変の一助となるかもしれません。

具体的には、当院を含む長野県下の糖尿病を比較的集中的に診療している医療施設の協力を得て、DKAと診断された患者さんに対するDKAの急性期および亜急性期の治療経過と予後を集計、解析します。これにより現在提示されているDKA治療ガイドラインの内容との一致、不一致、齟齬を明らかにすることを目的とします。

研究対象：

2015年4月1日から2020年3月31日までに、相澤病院糖尿病センター、信州大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌代謝内科、長野中央病院 糖尿病内分泌科内科、佐久市立国保 浅間総合病院 糖尿病センターでDKAと診断され、治療を行われた糖尿病患者さんの診療録を対象とします。

研究の意義：

DKA患者の治療内容を集積することで、日本人における糖尿病の代謝失調時の対応・実情が明らかになり、今後の治療ガイドラインの作成などに際して基礎資料となる可能性があります。

研究の目的：

本研究は、DKAの治療ガイドラインに記載されている治療内容が実際の医療現場でどれだけ受け入れられているか検証することを目的としています。

研究の方法および内容：

相澤病院の診療録データベースを利用して、診療録より必要な情報(患者背景、臨床経過 等)を収集し、統計学的な解析を行います。情報収集の作業に当たっては担当者がこれを行います。

個人情報に関する配慮：

人体から採取された試料ではなく、診療録を主とした既存資料を研究に用います。閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用 to 別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

研究責任者 宮腰 隆弘：

〒390-8510 長野県松本市本庄 2-5-1

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

糖尿病センター 医長 宮腰 隆弘

TEL 0263-33-8600 / FAX 0263-32-6763